

「教育委員会 年度始めの式」教育長訓示

H29.4.3 11:00～4 階大会議室

4月1日付けで宮澤市長より辞令交付を受け、新教育委員会制度のもと教育長を拝命した橋渡勝也でございます。

新たに着任されました教育委員会へ出向された皆様、新しくお見えいただいた方々、本日より教育部職員として、どうぞよろしく願いいたします。

さて、新年度の出発に当たって、“**自分の仕事に自信と誇りを持ち、知恵を出し、ずくを出し、汗をかき、チームで取り組む**”について改めて述べたいと思います。

—昨年3月のことです。堀金図書館のリニューアルオープンを記念して、「常念校長・佐藤嘉市展」が穂高交流学習センター「みらい」で開かれました。私は、企画段階から協力させていただいた関係で、オープンの早朝、交流ギャラリーに足を運びました。展示もすっかり完成したギャラリーで一人担当者が、最後の仕上げに脚立に立ってケースのガラスを一生懸命に拭いています。まるで、手塩にかけた我が子を慈しむように一心に・・・1年前から構想をスタートさせ、夏には課の有志で、佐藤校長の足跡をたどる常念岳登山までして思いを込めてきたと聞いておりましたので、感慨も一入だろうと推察しました。展覧会は、県外からもわざわざお見えになる方がおられるなど大盛況でした。そして、展示最終日の翌日、私は、借用した羽織・袴を受け取るために、再び休館日の「みらい」を訪れました。そこでは、お借りした時のそのままの状態に復元しようと、荷を広げたときの1コマ1コマを記録した写真を見ながら、折り目を確かめながら丁寧に折りたたんでいる職員の姿がありました。

—このような私が垣間見た話は、担当されている方々にとっては、日常的な当たり前のことと言われるかもしれませんが、私はその姿勢に「仕事に自信と誇りを持った姿」「素晴らしい連携とチーム力」を見出したのです。

私たちは、地味で目立たない、すぐに結果の現れにくい業務に携わっています。けれども究極的には「人と文化を育てる」共通の崇高な理想を目指す仲間です。困難な課題は多かれ少なかれみな抱えていますが、自分の仕事に自信と誇りを持ちつつ、チーム教育部として更なるパワーアップを期待しています。常に現場に足を運びながら“**自分に何ができるか**”と知恵を出し、ずくを出し、汗をかく職員の皆さんは宝です。健康に留意して頑張りましょう。

最後に、いつも申し上げることですが、教育委員会の職員は、公務員の中でも模範的であることが求められ、そのことを期待されます。毎日握るハンドル一つとっても、平日・休日を問わず高いモラルと規範意識を持って臨んでください。

これから1年間、どうぞよろしく願いいたします。(教育長 橋渡勝也)